



災害に備えて、命を守る行動を！

9月1日は「防災の日」です。防災について考えてみませんか。
 近年、私たちが過去に経験したことのない災害が全国各地で毎年のように発生しています。
 本市も、昨年3月と一昨年2月の福島県沖地震、令和元年東日本台風での洪水、東日本大震災での津波などにより甚大な被害を受けました。
 災害はいつ起こるか分かりません。いざというときに落ち着いて行動できるよう、避難ルートや避難場所、備蓄品などを確認しましょう。

(写真) 令和5年台風第2号などの被害を受けた和歌山県海南市で、相馬市から派遣された職員による災害廃棄物処理業務の様子

■災害が発生する前に必ず避難しましょう！

●警戒レベルと避難情報など

警戒レベル	避難情報など	
5	災害発生または切迫	緊急安全確保
<警戒レベル4までに必ず避難！>		
4	災害のおそれ高い	避難指示
3	災害のおそれあり	高齢者等避難
2	気象状況悪化	大雨・洪水・高潮 注意報（気象庁）
1	今後気象状況悪化のおそれ	早期注意情報（気象庁）

避難方法を考えよう！

「避難」とは「難」を「避」けること。避難所に行くことだけでなく、次の避難行動があります。

- ▽行政が指定した避難場所への立ち退き避難
- ▽安全な親戚・知人宅への立ち退き避難
- ▽屋内の安全な場所への避難（自宅の2階など）

◎普段から避難する時の行動（避難場所や避難ルートなど）を決めておきましょう。

■危険度分布「キキクル」を活用しましょう！

近年、大雨による土砂災害や浸水などが日本各地で発生しています。
 気象庁は、大雨による災害の危険度を色分けで地図上に表示する「キキクル」を公表しています。
 災害発生危険を察知し、安全なうちに避難するために、危険度分布「キキクル」の情報を活用しましょう。



「自らの命、大切な人の命を守る」ため 日ごろから災害に備えて準備をしましょう

防災メールの登録をしましょう

市は、災害時に防災・避難情報などを伝える「防災メール」を配信しています。

災害時は情報を取得しにくい環境となりますので、災害などから身を守るためにも、家族全員で登録しましょう。



防災行政無線の放送内容は 電話などで確認できます

市は、災害時に市内に整備した防災行政無線で防災情報をお知らせしています。

場所や天候によって放送内容が聞き取りにくい場合は、市ホームページを確認または電話応答装置（☎ 35-6633）を利用ください。

安否確認方法などを決めましょう

災害発生時に安否確認ができるよう、日ごろから安否確認方法や集合場所などを話し合っておきましょう。

災害時は携帯電話の回線がつながりにくくなり、連絡が取れない場合がありますので、「災害用伝言ダイヤル（☎ 171）」や「災害用伝言板」を利用しましょう。

ハザードマップを確認しましょう

日ごろからハザードマップを確認し、避難所や避難ルート、地域の危険箇所などを家族で話し合ひましょう。

災害により、道路が通行止めになることもあります。複数の避難ルートを確認しましょう。



飲料水などを備蓄しましょう

災害発生時は、電気や水道などのライフラインが止まってしまう場合もあります。

普段から、飲料水や非常食、薬などを準備しておくことが大切です。

消費期限なども確認し、古いものは使用し、新しいものを備蓄しましょう。



家具の転倒防止対策をしましょう

地震による家具の転倒、落下は、けがの原因や避難の妨げになります。事前に対策を行いましょう

- ▽テレビの下に粘着マットを設置
- ▽家具をL字金具などで固定
- ▽食器棚に留め金を付けたり、ガラス飛散防止フィルムを貼る

地震、台風などの災害のほか、
災害に伴う断水、停電などにも備えましょう！

災害に備えて



●問い合わせ先 地域防災対策室（☎ 37-2121）